

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	長野県看護大学
設置者名	長野県

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告(書)	

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.nagano-nurs.ac.jp/info/accredit.html 「自己点検・評価報告書(令和元年度分)」を大学事務局で配布
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: https://www.nagano-nurs.ac.jp/info/accredit.html

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 看護学部
教育研究上の目的（公表方法： https://www.nagano-nurs.ac.jp/gaiyou/gakubu-rinen.html ）
（概要） ・長野県看護大学条例（平成 6 年 12 月 22 日条例第 40 号）第 2 条「健康と福祉の増進に寄与することを目的として、看護の社会的機能を担うことのできる人材を育成するとともに、看護に関する専門的な知識及び技術を深く教授研究するため、長野県看護大学を駒ヶ根市に設置する。」と規定している。
卒業の認定に関する方針（公表方法： https://www.nagano-nurs.ac.jp/gaiyou/gakubu-rinen.html ）
（概要） ・卒業までに所定の単位を修得し、看護の基盤となる豊かな人間性と幅広い視野を備え、深い人間理解にもとづいた看護を創造的に実践する能力を有すると認められる者に、学士（看護学）の学位を授与する。 ・方針及び卒業認定基準を併せて公表している。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://www.nagano-nurs.ac.jp/gaiyou/gakubu-rinen.html ）
（概要） ・学生個々の可能性を最大限開花させるという教育理念のもと、深く人間を理解し豊かな人間性を持った看護専門職の育成のために、4 年間のカリキュラムを「人間理解の基礎科目」と「看護専門科目」のふたつの柱で構成している。
入学者の受入れに関する方針（公表方法： https://www.nagano-nurs.ac.jp/gaiyou/gakubu-rinen.html ）
（概要） ・看護師、保健師、助産師として長野県をはじめ日本各地の医療・保健機関や自治体において、多様な文化を理解し地域社会の人々の健康と幸せを守ることに貢献できる看護実践者の育成を目指しています。このような多様な可能性をもつ看護実践者の育成を目指す本学では、以下のような人を求めている。 ①自然や人間の様々な現象に興味を持ち、積極的に学ぼうとする人 ②相手の話に耳をよく傾け、自分の考えを適切に表現しようとする人 ③人間の尊厳を重んじ、相手の個性を尊重して協調しようとする人 ④問題に自ら進んで向き合い、柔軟な考え方で解決しようとする人 ⑤看護専門職として社会に貢献しようとする人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.nagano-nurs.ac.jp/kyouikujyohou/soshikizu.html>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
看護学部	—	8人	10人	14人	14人	12人	58人
	—	人	人	人	人	人	59人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
人			25人				25人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： https://www.nagano-nurs.ac.jp/gaiyou/kouza.html					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
看護学部	80人	85人	106%	340人	342人	101%	0人	0人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	80人	85人	106%	340人	342人	101%	0人	0人
(備考) 編入学は、平成28年度から募集停止								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
看護学部	86人 (100%)	6人 (7.0%)	79人 (91.9%)	1人 (1.1%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	86人 (100%)	6人 (7.0%)	79人 (91.9%)	1人 (1.1%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 信州大学医学部附属病院、飯田市立病院、長野市民病院、篠ノ井総合病院、伊那中央病院、長野県				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
看護学部	85人 (100%)	82人 (96.5%)	1人 (1.2%)	2人 (2.4%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	85人 (100%)	82人 (96.5%)	1人 (1.2%)	2人 (2.4%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
<ul style="list-style-type: none"> ・本学のシラバスを所管する教務委員会で「シラバス作成の手引き」を11月に作成し、教授会において、スケジュール等を提示し承認を得たのち、各科目責任者に作成を依頼し、3月末を目途に作成する。 ・作成するシラバスは、冊子とweb版 ・冊子については新年度の4月に行われるガイダンスで学生に配布し、web版は、同じ時期に大学ホームページに掲載し、公表している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
<ul style="list-style-type: none"> ・卒業までに所定の単位を修得し、看護の基盤となる豊かな人間性と幅広い視野を備え、深い人間理解にもとづいた看護を創造的に実践する能力を有すると認められる者に、学士（看護学）の学位を授与する。 ・方針及び卒業認定基準を併せて公表している。 				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
看護学部	看護学科	124単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://www.nagano-nurs.ac.jp/gaiyou/gakubu-info/guide.html>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
看護学部	看護学科	535,800円	282,000円	300,906円	実習交通費、教科書代
		円	円	円	
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>スタートアップセミナー 学生が早期に大学での学修に馴染むことを促し、またグループワークを通じた課題解決の方法を入学時に学ぶ「スタートアップセミナー」を実施している。</p> <p>【主な内容】</p> <p>①授業で必要となる学習スキルの基本を確認。(「学習スキル」とは、予習復習を含めた授業の受け方、ノートテイキング、レポートの書き方(講義)、文献・資料の検索、引用の仕方、グループワークなどをさす。)</p> <p>②グループワークでの議論や協働活動をとおして、課題解決の方法を学ぶ。</p> <p>③学生間および教員との積極的なコミュニケーションを図り、メンバーシップを発揮する。</p> <p>○学年顧問 各学年に2人の学年顧問を置き、学生の生活・履修・進路・学習面の相談に応じている。学年顧問は、卒業まで同じ教員が担当することで、きめ細かい支援を行う。</p>
b. 進路選択に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>・教育理念の実現を目指し、就職ガイダンス、進路面接、国家試験対策の支援等行っている。また、事務局に専任の就職支援員を置き、随時就職(進路)相談を行っている。</p> <p>【主な就職・進学に関する支援】</p> <p>(1) キャリアガイダンスの実施、(2) 進路希望調査の実施、(3) 個別面談の実施(卒業予定者全員を対象に4月に実施)、(4) 「進路の手引き」(キャリア支援ハンドブック)の作成、(5) 職場体験(インターンシップ)・職場見学等の紹介や斡旋等</p>
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>1 保健室 学生一人一人が、心身ともに健康で充実した学生生活を送れるよう、健康診断や健康相談、傷病等の緊急時の応急措置を行っている。</p> <p>2 健康センター 保健師が相談員として心(精神面)や体の不調や悩みに関する相談に応じている。</p> <p>3 臨床心理士 臨床心理士である教員が、学生からの相談に応じている。</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法： https://www.nagano-nurs.ac.jp/kyouikujoyouhou/kyouikujoyouhoutop.html
